

**例題** 次の資料にもとづいて、製造原価報告書を書きなさい。

1. 棚卸資産有高

	期首有高	期末有高
原料	① 800,000円	② 700,000円
仕掛品	③ 1,200,000円	④ 1,400,000円

2. 当期の仕入高・消費高など

原料仕入高	⑤ 3,900,000円
直接工賃金消費高	⑥ 1,700,000円
間接工賃金消費高	⑦ 580,000円
特許権使用料	⑧ 500,000円
減価償却費	⑨ 100,000円

●製造原価報告書①(材料費、労務費、経費で分ける形式)

製造原価報告書		(単位：円)	
<b>I. 材料費</b>			
1. 期首材料棚卸高	① 800,000	①+⑤	①+⑤-②
2. 当期材料仕入高	⑤ 3,900,000		
合計	4,700,000		
3. 期末材料棚卸高	② 700,000	4,000,000	
<b>II. 労務費</b>			
1. 直接労務費	⑥ 1,700,000		
2. 間接労務費	⑦ 580,000	2,280,000	⑥+⑦
<b>III. 経費</b>			
1. 特許権使用料	⑧ 500,000		
2. 減価償却費	⑨ 100,000	600,000	⑧+⑨
	<b>当月総製造費用</b>	6,880,000	
	期首仕掛品棚卸高	③ 1,200,000	
	合計	8,080,000	
	期末仕掛品棚卸高	④ 1,400,000	
	<b>当期製品製造原価</b>	6,680,000	合計-④

当期

●製造原価報告書②(製造直接費、製造間接費で分ける形式)

製造原価報告書		(単位：円)	
<b>I. 直接材料費</b>			
1. 期首材料棚卸高	① 800,000	①+⑤	①+⑤-②
2. 当期材料仕入高	⑤ 3,900,000		
合計	4,700,000		
3. 期末材料棚卸高	② 700,000	4,000,000	
<b>II. 直接労務費</b>			
		⑥ 1,700,000	
<b>III. 直接経費</b>			
		⑧ 500,000	
<b>IV. 製造間接費</b>			
1. 間接労務費	⑦ 580,000		
2. 減価償却費	⑨ 100,000	680,000	⑦+⑨
	<b>当月総製造費用</b>	6,880,000	
	期首仕掛品棚卸高	③ 1,200,000	
	合計	8,080,000	
	期末仕掛品棚卸高	④ 1,400,000	
	<b>当期製品製造原価</b>	6,680,000	合計-④

当期

- Point**
- ・材料費の書き方を覚える。
  - ・仕掛品の書き方を覚える。
  - ・製造直接費と製造間接費の分類を復習したい人は P.084 へ。